



つまごいむら

農業委員会だより

第42号

平成29年3月5日

編集・発行／嬬恋村農業委員会 ☎ 0279-96-1256

日頃より、農業委員会活動に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。平成28年度の農業は、春の播種作業開始以降、天候に恵まれ生育は順調に推移しました。5月中旬から月末にかけての乾燥により定植作業と生育がやや停滞したもの、前年より全般的に少し早めの出荷開始となりました。また、8月中旬まで少雨傾向が続きトウモロコシにおいては発芽不良となり、キヤベツは結球の肥大が抑制されました。9月に入り台風の襲来、長雨日照不足の影響により青果物の品薄となる中、数量の安定しているキャベツの引き合いは強まり、中旬以降長期にわたり相場が高値で推移しました。

農業委員会の主たる使命として、農地利用の最適化の推進が最も重要であることが明確化され、担い手への農地利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進などを積極的に推進していくことが重要とされています。

嬬恋村の農業の発展のために、農業委員と推進委員がそれぞれの役割を果し密接に連

平成28年4月1日に農業委員会等に関する法律の一部改正が施行されたことに伴い、村では、平成29年7月より農業委員会改革が行なわれます。新たに、農地利用最適化推進委員が設置され、農業委員会の農業委員の定数は17名、農地利用最適化推進委員は15名と決まりました。

A circular portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a light blue button-down shirt. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

嬬恋村農業委員會

会長 小嶋 良介

農業委員会だより
発行にあたり



春に向けて進む除雪作業

携し、また、農地中間管理機構を活用しながら、農地の最適化に向けて取り組んでいく

ことを決意し、農業委員会だより発行にあたり挨拶といったします。

農業委員会視察
研修を終えて



農業委員
黑岩秀三郎

農業委員会任期3年の最後の年にあたり3泊4日の石垣島・沖縄本島の視察旅行に行つてきました。2月6日の早朝、嬬恋村を出発し石垣空港に午後3時に到着。2月の平均気温が20度という事が風が強く、少し肌寒く感じました。

さとうきびに白い花穂がでている畑があり、それが収穫期を迎えたサインだそうです。2期作の田植えも始まっています。夏が収穫期のパイン畑、石垣牛で有名な黒毛和牛も見受けられました。

川平湾のグラスボートで西表島仲間川のマングローブ、由布島の水牛車などの観光を行いました。

昨年台風が通過しなかつたことにより、海面の水が海底の冷たい水とかき混ざらない



(株)トーホク育苗農場
石垣島分場視察の様子

ために水温が上昇し、珊瑚礁が死滅してしまう問題が深刻化しているようです。

3日目に(株)トーホク育種農場石垣島分場へ視察に行きました。4ヘクタールの敷地内に管理棟・ハウス・圃場があり風速70mを超える台風又、暑さ対策の創意工夫の話を伺いました。

空路那覇へ移動し、まさひろ酒造にて泡盛の製造工程やバイオマスプランで蒸留した後で残る絞りカスの分解精製の説明をしていただきまし

視察研修の 報告について



農業委員
田村 直行

ために水温が上昇し、珊瑚礁が死滅してしまう問題が深刻化しているようです。

頼るほかなく、特に夏場の
キヤベツは、嬬恋産に期待して
いるとのことです。

ネル設置また振音舗装や道路
標識など様々な配慮がされて
いるとのことです。

ンディカ米と黒麹菌を使って造ることでした。泡盛は600年の文化があるとのことです。

2月6日から9日まで、石垣島と沖縄本島へ観光を兼ねて研修旅行に行つてきました。上空から見えた石垣島は畑が区画整理されているようでした。田では田植えが始まり、年2期作とのことでした。

2日目は西表島のマングローブのクルーズと水牛車で由布島へ渡る観光をしました。西表島は9割が国立公園でヤンバルクイナなどの野生生物を交通事故から守るために、道路の下に動物用のトン

石垣島は、ダムがあり水の心配はないとのことでした。帰りのバスからサトウキビ畑、牛や牧草畑を見ました。スプリンクラーで散水している畑もありました。

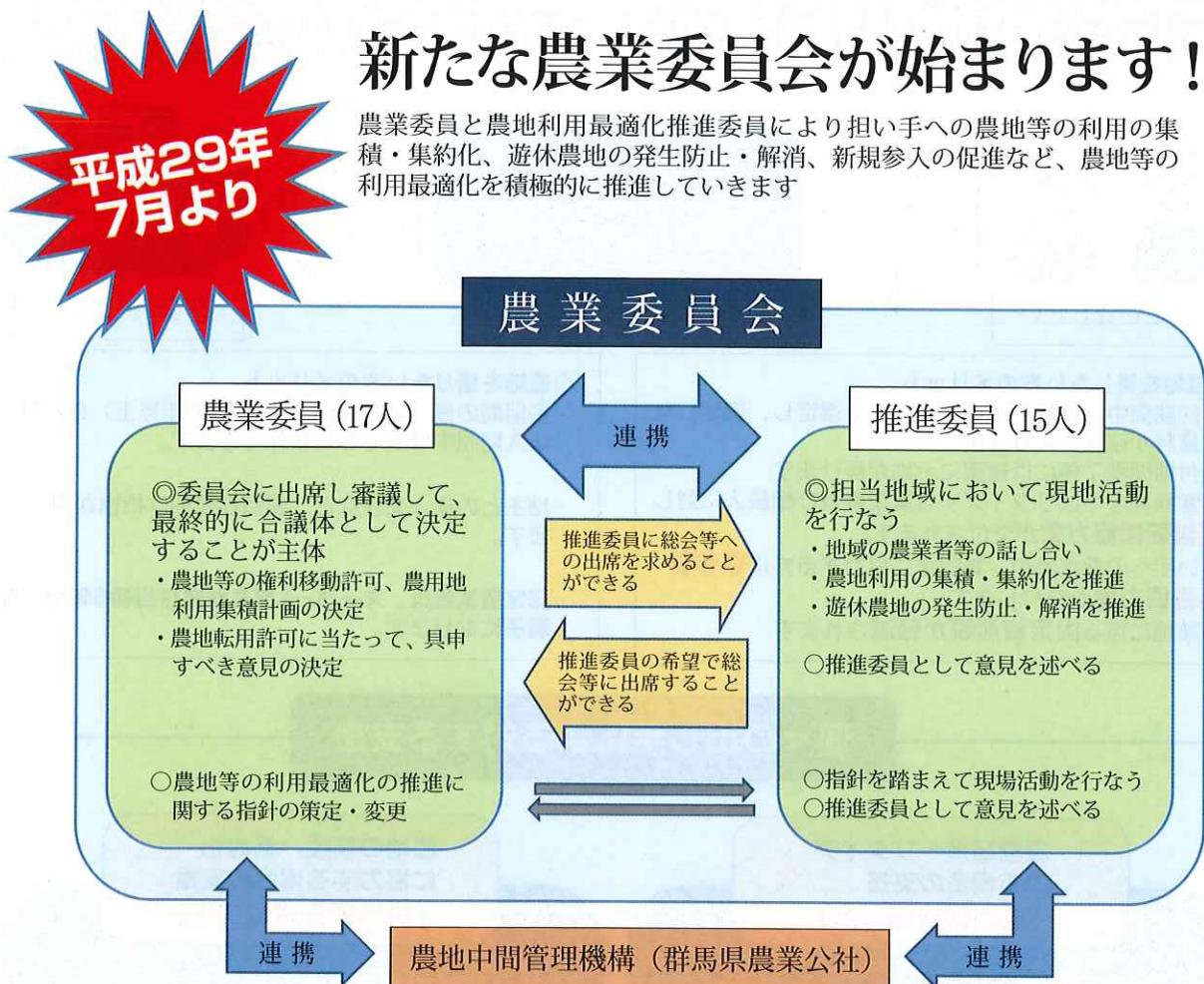
午後は沖縄本島に渡り、糸満市のまさひろ酒造のバイオマスプラント施設を観察しました。カスとして出たものを水と汚泥に分けて水は海に放流すること。大規模な装置で驚きました。酒造りも見学し泡盛は硬質米のタイ産イ

最終日は、沖縄協同青果市場を視察しました。海辺にあ
る建物は鉄筋コンクリート
で頑丈なものでした。場内に
くみられました。昨年は嬬恋
産夏秋キヤベツを3万3千
ケース扱ったとのこと。運賃
は400円から500円かか
るそうですが、更に嬬恋村の
キヤベツの需要が見込まれそ
うです。

沖縄は観光客で賑わってい
ました。同行した皆様には大
変お世話になりました。以上
で私の研修報告とさせていた
だきます。



沖縄共同青果市場視察の様子



>>>農業委員及び推進委員募集<<<

従前の公選制を廃止し、農業委員については村長の任命により、推進委員については農業委員会の委嘱により選任されます。

農業委員の任命又は推進委員の委嘱を行なうのに当たり、村及び農業委員会では農業者、農業者が組織する団体その他関係者に対し、候補者の推薦を求めるとともに、農業委員又は推進委員になろうとする方の募集をします。

◇募集人数

・農業委員	17人
・農地利用最適化推進委員	15人

◇対象者

・農業委員

農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化に関する事項、農地法その他の農業委員会の所掌に属する事項に關し、その職務を適切に行なうことができる者

・農地利用最適化推進委員

農地等の利用の最適化に関する事項、その他農業委員会の所掌に属する事項に關し、その職務を適切に行なうことができる者

◇委員の任期

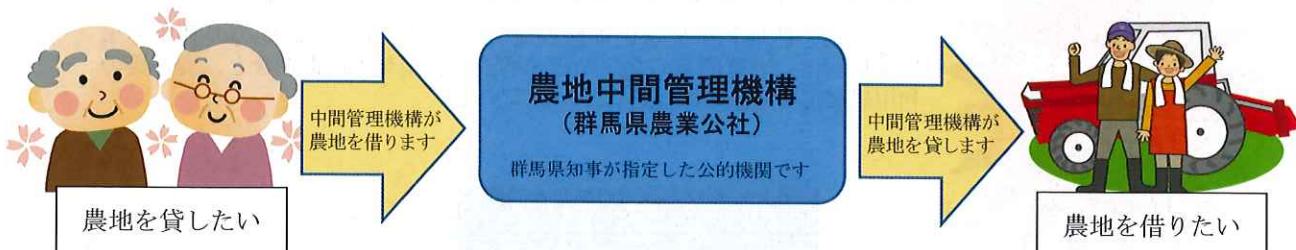
・農業委員	平成29年7月20日から平成32年7月19日
・農地利用最適化推進委員	平成29年7月20日から平成32年7月19日

◇推薦・募集期間

平成29年3月1日（水）から平成29年3月31日（金）まで

詳細につきましては、村ホームページをご覧いただか役場 農林振興課・農業委員会事務局にお問い合わせください。

～農地中間管理機構を活用しましょう～



◇農地を貸したい方のメリット

- ・契約期間中は機関が適切な貸付先を選定し、安定した賃料が確実に入ります
- ・貸付期間満了後には確実に土地が戻ります
- ・経営転換またはリタイアする農業者及び相続人に対し **経営転換協力金** が交付されます。
- ・担い手への農地集積・集約化に協力する方に **耕作者集積協力金** を交付します
- ・当該地に係る固定資産税が軽減されます

◇農地を借りたい方のメリット

- ・長期間の借り入れが可能（原則10年以上）になり、借入期間中は安心して耕作できます。
- ・地主との借入交渉など、面倒な事柄は機関が引受けます。
- ・認定農業者は、スーパーL資金が貸付当初5年間、無利子になります。

個々の出し手による対する支援

経営転換・リタイアする場合の支援 (経営転換協力金)

1 交付対象者

- 機構に貸付けることにより
- ・経営転換する農業者
 - ・リタイアする農業者
 - ・農地の相続人

2 交付要件

- ・全農地を10年以上機関に貸付ける
- ・当該農地が機関から受け手に貸付けられる

3 交付額

- ・対象面積×35,000円/1ha
(ただし、上限交付額を2ha以下は50万円/2ha超は70万円とする)

農地の集積・集約化に協力する場合の支援 (耕作者集積協力金)

1 交付対象者

- 機構の借受農地等に隣接する農地を
- ・自ら耕作する農地を機関に貸付けた所有者
 - ・所有者が農地を機関に貸付けた場合の当該農地の耕作者

2 交付要件

- ・交付対象農地を10年以上貸付ける
- ・当該農地が機関から受け手に貸付けられる

3 交付単価

1万円/1ha

○リタイアするので農地を貸したいな！
○耕作放棄地を解消したいな！
○利用権を交換して分散した農地をまとめたいな！
と思ったら・・・

まずは、農業委員会、農地中間管理機構
にご相談ください